

検討に当たっての主な論点

※ 下線部は、前回会合提出資料からの追加部分

1. ソフト面

【基本的な視点】

- 東京圏をはじめ大都市の高齢者の地方移住の支援
- 「健康でアクティブな生活」を支援するためのプログラムの提供
- 医療・介護が必要な場合の「継続的なケア」の確保
- 地域社会（多世代）との共働推進のためのきめ細かな支援
- IT活用などによる効率的なサービス提供

【主な論点】

- ・ 東京圏をはじめ大都市の高齢者が、自らの希望に応じて、地域社会に馴染みながら移住するために、事前相談、お試し居住等のきめ細かな支援をどのように推進していくか。
- ・ 「健康でアクティブな生活」を支援する観点から、各人の状況・能力・経験等に即したプログラムをどのように開発し、提供していくか。
- ・ 仕事や社会活動等への参加を基本とすべきとの意見があるが、どう考えるか。
- ・ 医療・介護を必要とする場合の「継続的なケア」を確保するために、どのような具体的方策を講じていくか（ケアパス、ケア体制、健康情報管理等）。
- ・ 地元住民との積極的な共働など地域社会との交流・融合を、どのように推進していくか。
- ・ ソフト面全般のコーディネートを行う、いわば「司令塔機能」が重要となるが、それを担う地域拠点の役割や人材配置について、どう考えるか。
- ・ ケア人材不足に対応し、効率的・効果的なサービス提供に向けて、IT活用や多様な人材の複合的なアプローチ、高齢者などの積極的な参加など、どのような方法が考えられるか。

2. ハード面

【基本的な視点】

- 自立した生活ができる居住環境の提供
- 地域資源や既存ストックの活用

【主な論点】

- ・ 自立した生活ができる居住環境の確保という観点から、ハード面における具体的な条件（居室、構造等）をどう考えるか。
- ・ 地域資源や既存ストックを活用した多様な立地・住宅構造・サービス機能の類型を、どう整理するか。

3. 事業運営面

【基本的な視点】

- 居住者の参画・情報公開等による透明性・安定性の高い事業運営
- 多様な事業主体、事業の継続性の確保
- 可能な限り多くの高齢者の希望の実現

【主な論点】

- ・ 居住者の参画やコミュニティ運営等に関する情報公開を推進するために、どのような方策を講じていくか。
- ・ 行政による指導監督や民間外部機関による格付認証の実施について、どう考えるか。
- ・ 民間企業を始め多様な事業主体の参加を図るとともに、事業の継続性を確保するため、どのような方策が必要か。
- ・ 可能な限り多くの高齢者の希望を実現するという観点を踏まえつつ、居住者のコストや年齢層をどのように考えていくか。

4. 政策支援

【基本的な視点】

- 関連制度等による支援の検討
- 「地方創生特区」「地域再生計画」の活用の検討

【主な論点】

- ・ 地域の実情等に応じた多様な取組を支援する観点から、関連制度等による支援として、どのような政策支援が考えられるか。
- ・ 先行的な取組を支援する観点から、「地方創生特区」「地域再生計画」の活用について、どのような活用が考えられるか。